

《 大人も見上げる
大草原の巨人 》

暑さの中にも 秋の気配 パンパスグラス見頃

国営ひたち海浜公園では「パンパスグラス」が見頃を迎えました。大人の背丈をはるかに越える巨大な姿と、和名の「白銀葎（シロガネヨシ）」という名の通り銀白色に輝く花穂が特徴のパンパスグラス。ススキにも似たパンパスグラスが風にそよぐ様子は、夏の植物がまだまだ楽しめる園内で、秋の訪れを予感させます。



撮影/2019年8月27日

◆見上げるほど巨大な背丈にびっくり

パンパスグラスは、南米原産のイネ科の多年草で、約20種が知られており、栽培されるのは明治中ごろに渡来したセロアナ種 (*Cortaderia selloana*) です。名前は“パンパス (南米の大草原) に生えるグラス (草)”に由来します。『お化けススキ』の異名を持ち、草丈は2~3mにも及びます。並んで背丈を比べると、見上げるような草丈の高さに思わず圧倒されてしまいます。

イネ科コルタデア属の多年草 別名:シロガネヨシ(白銀葎) 株数:約500株
原産地:南米(ブラジル・アルゼンチン) 見頃:8月下旬~10月上旬

◆パンパスグラスを探そう! 自転車で秋巡り

パンパスグラスは大草原北東側の他、大草原周辺のサイクリングコース沿いに植栽しています。パンパスグラスが立ち並ぶ秋の風景を、自転車で駆け巡るのもおすすめです。

- ① ぴよんぴよんサークル 株数:10か所40株
園内で一番背丈の高いパンパスグラスが並ぶ場所。近くに寄れば、その圧倒的な迫力に驚かされます。
- ② 大草原北東側 株数:49か所200株
ぴよんぴよんサークルより約1週間程遅れて花穂をつけます。可愛らしい桃色の花穂もご覧いただけます。
- ③ 常陸野、はまかせサークル周辺 株数:270株
サイクリングコース沿いに植栽されているので、自転車で駆け抜けるのも爽快です。

◆生き物の毛並みのような花穂 色違いも楽しめます

すっと伸びた茎の先に、円錐形に広がるパンパスグラスの花穂は、ふさふさとした羽毛状。銀白色に輝く花穂は、まるでキツネの尻尾やライオンのたてがみのようにも見えます。赤黒色や、時間の経過と共に色が抜けていく桃色の花穂もあり、訪れる人の目を楽しませます。



大草原北東側 (2018年9月9日撮影)



赤黒色の花穂 (左 / 2017年9月2日撮影)
桃色の花穂 (右 / 2018年9月8日撮影)

Information

水遊び広場は、9/1(日)まで
オープンしています。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp/>